

**第2学年の目標**

- ・ 社会人に必要な資質を身につけさせ、基本的な生活習慣を確立する。
- ・ 基礎学力の定着を図り、将来の進路を見据えた授業・実習等を実施する。
- ・ 学校行事への積極的な参加を促す。

**学校の教育目標**

豊かな人間性と人格の完成をめざし、社会の発展に貢献し得る、心身ともに健全な海洋技術者を育成する。

**何ができるようになるか**

**○学校教育の基本**

- ・ 社会人に必要な資質を身につけている。
- ・ 基本的な生活習慣が確立している。
- ・ 基礎学力が定着し、将来の進路実現に備えている。
- ・ 学校行事に積極的に参加する。

**何が身に付いたか**

**○学習評価と通じた学習指導の改善**

- ・ 礼儀正しい誠実な態度が身についている。
- ・ 道徳的判断力や実践力が身についている。
- ・ 基礎学力が身につく、専門教科の知識・技能が身についている。
- ・ 将来の進路目標を明確にしている。

**子供たちの実態**

- ・ 学力上位と下位の幅が大きく、課題や問題点について、自ら調べたり、考えをまとめたりすることが苦手な生徒が多い。
- ・ 入学直後は、海洋・水産に関する意識が低く、将来についてもあまりよく考えていない生徒が多い。
- ・ 規範意識、コミュニケーション能力、社会性、倫理観に乏しい生徒が目立つ。

**子供たちの発達をどのように支援するか**

**○配慮を必要とする子供への指導**

特別支援コーディネーターのアドバイスを参考にしつつ、グループ活動等で孤立しないように声かけや、アドバイスなどを行う。

**目指す子供たちの姿**

校訓である「自主協調」「責任」「勤勉」「礼儀」「忍耐」を備えることにより、地域に信頼され、地域社会に必要とされる人材となる。

**何を学ぶか**

**○教育課程の編成**

- ・ 欠席・遅刻を減らし、正しい言葉遣いや挨拶について学ぶ。
- ・ 道徳プラスにおいて、道徳的判断力や道徳の実践力を学ぶ。
- ・ 授業を通して国語力や計算力などの基礎的内容を学ぶ。
- ・ 専門教科等を通して、将来に必要な知識・技能を学ぶ。
- ・ 企業実習を通して、将来の目標を明確にし、進路選択への意欲を向上させる。
- ・ 学校行事へ積極的に参加させ、参加することの大切さや充実感を体感させる。

**どのように学ぶか**

**○教育課程の実施**

- ・ 社会人に必要な資質としての挨拶や言葉遣いは、ショートホームルームやロングホームルーム、学年集会等において説明するとともに、授業前後の挨拶をしっかりと行うなどの実践をとおして身につける。
- ・ 教科横断的な授業内容の充実を図るとともに、基礎的な内容に取り組む機会を設け、基礎学力の定着を図る。
- ・ 企業実習をとおして、社会人とのコミュニケーション能力等を身につけるとともに、将来の進路について学ぶ機会を設ける。
- ・ クラスマッチや体育祭、文化祭などの学校行事へ積極的に参加し、自主的・自発的な取り組みを経験するとともに、規範意識を身につける。

**実施するために何が必要か**

**○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働**

- ・ 教務部・生徒指導部・進路指導部・特別活動部・企画部・各教科と連携し指導体制の確立を図る。
- ・ 家庭・地域社会・関係機関と情報の共有・連携を図る。
- ・ 企業実習推進委員会と連携し、効果的な企業実習を実施する。